

津軽森林管理署金木支署の採材等現地検討会に参加

令和7年11月11日(火)、青森県五所川原市の太田山国有林野内において津軽森林管理署金木支署主催による採材等現地検討会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。当日は朝まで雨模様でしたが開会時には曇り空となり、林業関係団体や林業事業体など32名の参加者を得て開催されました。金木支署長の挨拶後に参加者の紹介と現地概要等説明が行われ、続いて青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向について、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項等について説明しました。

説明終了後、4班に分かれて早速実際の現地検討に移りました。



開会式の様子



4班に分かれ採材検討

準備されたヒバ2本と広葉樹2本の供試木を、参加者が4班に分かれて採材方法について検討。各班の検討結果について、支署担当者からヒバの採材の考え方等について説明があり、また、青森県森林組合連合会から広葉樹についての講評をいただくとともに、採材に当たっての留意点等についても情報提供していただきました。さらに、ナラ枯れが深刻となっている状況の中、今後のナラ丸太の取扱に関する情報もいただき有意義な1日となりました。最後に、青森事務所から講評と労働安全等についてお話をさせていただきました、検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署等で開催される採材現地検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



検討結果の講評



労働災害未然防止に向け指導